

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2303160	博物館実習 Practical Training in Museum	丹羽誠次郎	専門	3	選択	3年後期集中
科目の概要						
この科目は博物館とそこで働く学芸員の活動の実際を、現場で知る／体験する科目である。まず、複数の博物館で展覧会の鑑賞と学芸員による講義を中心とする「見学実習」を行い、4年次には学内のスペース等を利用して展覧会開催に係わる業務を擬似的に経験する「実務実習」を経て、博物館施設で博物館業務の実際を経験する「館園実習」を行う。						
学修内容			到達目標			
① 博物館施設での講義の聴講、施設の見学、展覧会の鑑賞をする。 ② 学内のスペースを活用した展覧会開催に係わる業務の擬似経験をjする。 ③ 博物館施設での館園実習に取り組む。			① 社会における博物館の役割を理解する。 ② 展覧会の企画から展示までに必要な一連のプロセスを知る。 ③ 博物館学芸員の業務内容を体験する。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	授業の見学以外でも興味・関心を持って、積極的に展覧会に出かけることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	実務実習や館園実習で与えられた課題をしっかりとやり遂げることができる。				
考え抜く力	課題発見力	見学実習や館園実習の際に展示資料の扱いや展示についての工夫を見つけ出すことができる。				
	計画力	実務実習の際に自分たちで立てたスケジュールに従って展示準備を進めることができる。				
	創造力	実務実習の際に展示のアイデアを複数提案することができる。				
チームで働く力	発信力	各種実習の事後指導の際に、自分の得た知見をわかりやすく伝えることができる。				
	傾聴力	見学実習や館園実習の際に積極的に質問をすることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	見学実習や館園実習で決められたルールや、レポートなどの提出期限を守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト：教科書：使用しない。必要な資料は実習の内容に合わせて適宜配布する。						
参考書：授業内で随時紹介する。						
他科目との関連、資格との関連						
博物館学芸員課程に関する科目						
学修上の助言			受講生とのルール			
授業で見学に出掛けるだけでなく、普段から博物館や美術館へ積極的に出掛け、展覧会を鑑賞したり講演会やさまざまなプログラムに参加するよう心掛けること。また実務実習では、授業時間外にも多くの時間を準備に充てる必要が生じる。			「見学実習」は授業が開講されない土、日曜日に、「館園実習」は各実習受入館の指定する期間（主に夏期休暇中）に実施される。実習にあたっては遅刻、欠席は決してしないように注意すること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
小テスト		①	
		②	
		③	
レポート	15	①	「見学実習」毎に課すレポートの提出状況と内容を評価する。 内容評価の基準は以下の2点である。 ・見学した館／展覧会の特長がしっかりと理解でき報告できている。 ・見学した館／展覧会に対し、自身の観点で意見を述べている。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)	60	①	「事前事後指導」「館園実習」への出席および取り組み状況の評価する。 「館園実習」については実習館からの評価に準拠する。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
作品	15	①	「実務実習」での取り組みと成果をもって評価する。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	「見学実習」での見学態度、「事前事後指導」「実務実習」への出席および取り組み状況の評価する。 【主体性】見学実習に積極的な姿勢で臨むことができる。 【実行力】実務実習で与えられた課題をしっかりとやり遂げることができる。 【課題発見力】見学実習の際に展示資料の扱いや展示についての工夫を見つけ出すことができる。 【創造力】実務実習の際に展示のアイデアを複数提案することができる。 【発信力】各種実習の事後指導の際に、自分の得た知見をわかりやすく伝えることができる。 【傾聴力】見学実習の際に積極的に質問をすることができる。 【規律性】授業内で決められたルールや、レポートなどの提出期限を守ることができる。 館園実習の実習館からの評価に準拠する。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
①「見学実習」に熱心な態度で参加し、レポートについても客観的なデータを示しつつ、自身の見解をしっかりと述べている。 ②「実務実習」に積極的に取り組み、優れた展示を作ることができる。 ③「館園実習」に積極的に取り組み、実習館から高い評価を得ることができる。 上記3項目の基準を全て満たし、そのうち1項目以上の基準に対して極めて高い評価が与えられると判断された場合、S(秀)評価をする。	①「見学実習」「実務実習」「館園実習」のいずれにも積極的に取り組み、課題やレポートについても提示された条件どおりに作成、提出することができる。 ②「見学実習」「実務実習」「館園実習」のいずれかで優れた成果を上げることができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	3年次「見学実習」事前指導 見学実習の目的とスケジュールを理解する。	講義	見学実習の目的とスケジュールが理解できる。	(予習)2年次までに学修した内容を復習しておく。 (復習)見学の目的とスケジュールを再確認する。	90 90	主体性 課題発見力 傾聴力
2週 ～ 4週 /	3年次「見学実習」1～6 学芸員による講義、施設の見学／展覧会の鑑賞から ・博物館の組織・役割 ・博物館の業務内容 ・資料の管理、保全の工夫 ・展覧会開催までの流れ ・展示の方法、技術 ・教育普及活動の取り組みを理解する。	見学実習	主体性をもって、講義の聴講、設の見学／展覧会の鑑賞ができる。	(予習)事前に見学先の館・園の施設、展覧会情報を調べておく。 (復習)見学して得た知見をレポートにまとめる。	30 150	主体性 課題発見力 規律性
5週 /	3年次「見学実習」事後指導 各施設の特徴を比較し、施設の多様性を理解する。	講義 グループワーク	積極的に意見交換ができる。	(予習)見学レポートを見直しておく。 (復習)「見学実習」全体をまとめる。	30 150	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
6週 ～ 8週 /	4年次「実務実習」 学内のスペースを活用したテーマ展示の企画、展示、解説、運営(広報を含む)をチームで行い、展覧会開催に係わる業務を擬似経験する。	実務実習	自分に与えられた役割を理解し、主体性をもって行動することができる。	(予習)展示について自分の案をまとめておく。 (復習)「実務実習」での問題を再確認する。		主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力
8週 /	4年次「館園実習」事前指導 館園実習の目的とスケジュールを理解し、実習館を事前調査する。 実習に臨む際の心構えと注意事項を再確認する。	講義 グループワーク	館園実習の目的とスケジュールを理解できる。	(予習)実習を希望する館・園の施設情報を調べておく。 (復習)「館園実習」の心構えと注意事項を再確認する。		主体性 課題発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 ～ 14週 /	<p>4年次「館園実習」1～7各実習館での学芸員の指導により</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館の組織・役割 ・博物館の業務内容 ・資料の管理、保全の工夫 ・展覧会開催までの流れ ・展示の方法、技術 ・教育普及活動の取り組みを理解する。 <p>※実習内容は、実習館の設定するプログラムにしたがう。</p>	館園実習	実習館の設定するプログラムにしたがって、実習を進めることができる。	<p>(予習)「学芸員に関する科目」で学習した内容を復習しておく。</p> <p>(復習)実習記録をまとめる。</p>	120 60	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	<p>4年次「館園実習」事後指導各館での実習体験を相互に報告し合うことにより、他の施設での実習内容とそこから得られた知見を交換する。後輩へ実習にあたっての注意点を申し送る。</p>	講義 グループワーク	積極的に意見交換ができる。	<p>(予習)実習で得た知見をレポートにまとめる。</p> <p>(復習)博物館実習全体をまとめる。</p>	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力